

生徒心得

この心得は、生徒諸君が本校の教育目標にのっとり、快適な充実した学校生活を送るための指針である。

本校生徒としての自覚と誇りをもって、健康な身体と豊かな人間性を育て、相互に人格を尊重しあい、清新にして、かつ力強い校風を自らの手で創造し、社会に役立つ人間として、成長していこう。

学習とホームルーム

- 1 学習は、生徒の本分であることを自覚し、常に自主的な学習活動を行い、学力の充実につとめる。予習・復習を励行して、目標達成に全力をつくそう。
- 2 教室内は、常に整とんし、清潔な雰囲気で、気持ちよく学習活動ができるようとする。
- 3 ホームルームの各委員は、常に職員との連絡を密にし、円滑な学習活動が行われるように留意する。
- 4 ホームルームは、学校生活の最小の単位である。ここでの活動があらゆる学校活動の基礎となる。秩序を保ち、整然とした活気のある集団活動を行うように努める。

登校及び下校

- 1 始業時刻の5分前には登校し、着席している。
- 2 登校にあたっては、定められた通学路を通行し、交通規則を守り、交通道徳の高揚につとめる。
- 3 自転車通学を希望する者は、保険に加入し、登録の上、許可を受けるものとする。自転車は施錠し、所定の場所におく。
- 4 当日の欠席等は8:30までに欠席等連絡システムに入力する。
- 5 在校時間帯にあっては、生徒は、無断外出をしてはいけない。外出する場合は、担任の承諾を得て、かつ、外出許可証を携帯する。
- 6 本校生徒は、次の指定された時刻までに下校する。
夏期（3月～10月） 午後5時
冬期（11月～2月） 午後4時30分
- 7 クラブ等の活動で、止むを得ず下校時刻以降も、在校する時は、関係職員の承諾を得て、事故の無いように活動を行い下校する。

通学時の服装

- 1 本校生徒は、服装規定を守り、高校生らしい品位を保つ。
- 2 通学かばんは、高校生らしい品位のあるものとし、華美なものはさける。
- 3 履物は、黒又は茶の短靴（運動靴も可）とし、本校生のものとして、ふさわしいと認められるものを着用する。靴下は華美なものはさける。
- 4 頭髪は、パーマ、染色、脱色、エクステンションの装着等の加工は不可。
- 5 ピアス・ネックレス・指輪などの装身具は不可。化粧やカラーコンタクト等も不可。

- 6 休日登校時の服装も上に準ずる。
- 7 止むを得ず規定以外の服装をするときは、異装許可願を提出して、承諾を受ける。

所持品

- 1 所持品には、氏名を記し、全般にわたって華美にならぬよう注意する。
- 2 学習に関係のない物品及び法律・校則に反するものは学校に持参しない。
- 3 紛失品又は拾得品があった時は、必ず関係職員に届け出る。

校内生活

- 1 本校生徒は、礼儀を守り、若者らしく元気に、お互いにあいさつを励行する。
- 2 公共物は、大切に扱い、常に整理整とんし、破損あるいは、亡失した時には、関係職員に届け出て指示を受ける。
- 3 学校備品の使用にあたっては、関係職員の指導を受ける。
- 4 校内における火気使用は厳禁する。エアコンの使用については、エアコン使用規定によるものとする。
- 5 上ばき、体育着、体育館ばき、グラウンド用シューズは、本校所定のものを使用する。
- 6 あらかじめわかっている欠席、遅刻、早退については、生徒手帳の連絡欄で事前に届け出る。
忌引きは、次の基準による。
父母…………… 7 日
祖父母・兄弟・姉妹………… 3 日
伯叔父母・その他の親族…… 1 日
- 7 集会の開催、指示、印刷物の配布や外来者との面会は、関係職員の指示を受けてから実施する。
- 8 必要以上の金銭は持参しない。日常の金銭の保管は、自らの責任において管理し、体育等の際には、貴重品袋等を使用するなど、管理を徹底する。
- 9 放課後、最後まで居残った者は、室内を整理整とんし、電源、戸締まり等に留意して退出する。

校外生活

本校生徒としてまた社会の一員として、責任ある生活態度で行動する。

- 1 外出には、必ず身分証明書を携帯する。
- 2 事故があった時には、速やかに学校に連絡する。
- 3 風紀上問題のある飲食店、娯楽場等には立ち入らない。
- 4 学校の内外を問わず、生徒間で、みだりに金銭の徴収及び貸借や物品の売買をしない。
- 5 反社会的行為、飲酒、喫煙などの法律に反する行為をしない。
- 6 いかなる理由があっても登下校及び制服を着ての原付・自動二輪車・自動車等の運転は認めない。
免許の取得については保護者・ホームルーム担任と相談の上取得する。尚、取得した場合は必ず学校指定の取得届を提出する。

その他

- 1 不良行為にかかわらないよう慎重な配慮と行動をする。
- 2 暴力行為は厳禁する。
- 3 お互いを尊重する態度で人間関係を構築すること。
- 4 SNS の使用に関しては、内容の取扱いに注意して利用する。